

附属病院／医療安全管理部

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	秋野 裕信	平成27年4月～
—	その他の職員	

2. 研究概要

研究概要

医療安全管理に関する研修はおおむね年2回以上受講することが医療法で定められており、2016年の医療法改正では特定機能病院の承認要件見直しとして院内研修の充実が求められています。院内研修が医療安全管理に重要とされていますが、研修が実際医療安全確保に役立っているとするエビデンスは欠如したままです。院内研修が実際に医療安全行動に生かされるかを、科学研究費補助金の基盤研究（C）を獲得して研究しています。

医療安全管理には医師からの報告が欠かせませんが、医師からの報告を増加させて医療安全に対する認識を持たせることを目標に対策を講じており、その有効性に関して研究しています。

医療安全管理のためはマニュアルや作業手順の遵守が必要ですが、それらを作成して遵守を医療者に促しても医療事故が絶えることはありません。チームワークやコミュニケーション、リーダーシップなどのノンテクニカルスキルが医療事故防止に重要です。米国医療研究品質局が作成したTeamSTEPPS（Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety、チームとしてのより良いパフォーマンスと患者安全を高めるためのツールと戦略）を院内研修に導入し、医療事故発生件数の抑制効果について研究します。

キーワード

医療安全、院内研修、ノンテクニカルスキル、インシデント・アクシデント報告システム、リスク行動

本学の理念との関係

本学医学部の理念である「愛と医術で人と社会を健やかに」は、まさに医療安全管理部が目指す目標そのものであります。医療安全管理の根底には「人は間違える」存在であるとの考えがあり、今まで医療事故防止のために人ではなくシステムを改善することに主眼が置かれてきました。しかし、医療の最小単位が医療者という人である限り医療事故が絶えることはありません。よって、人が間違えることを最小限にとどめることが重要になるわけですが、そのためには本学医学部の理念にある「愛と医術」が必要です。患者への愛、ともに働く医療者への愛は、円滑なコミュニケーションや細部への心配りなどチーム医療による事故防止に最も重要な条件であり、そして医術の修練と進歩が医療安全に欠かせないことは言うまでもありません。

「愛」は技術ではなく、医療者のノンテクニカルスキルの根底にあるものであります。しかし、医療者の「愛」に期待するだけでは医療に必要なノンテクニカルスキルの修得は困難です。院内研修を通じてノンテクニカルスキルに関する研修を行い、その有用性を評価して、今後の研修につなげていくことが重要です。

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター（うち原著のみ）
		2016年分	2016年分
和文原著論文		0	—
	ファーストオーサー	0	0 (0)
英文論文	コレスポンディングオーサー	1	3.128 (3.128)
	その他	2	7.868 (7.868)
	合計	3	10.996 (10.996)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

16106001

O. Yokoyama, O. Nishizawa, Y. Homma, M. Takeda, M. Gotoh, H. Kakizaki, H. Akino, K. Hayashi, K. Yonemoto; OASIS project group.: Nocturnal polyuria and hypertension in patients with lifestyle related diseases and overactive bladder, J Urol, 197(2), 423-431, 201702, DOI: 10.1016/j.juro.2016.08.087, #4.7

16106002

H. Ishida, H. Yamauchi, H. Ito, H. Akino, O. Yokoyama: α 1D-adrenoceptor blockade increases voiding efficiency by improving external urethral sphincter activity in rats with spinal cord injury, Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol, 311(5), R971-R978, 201611, DOI: 10.1152/ajpregu.00030.2016, #3.168

16106003

R. Yokokawa, H. Akino, H. Ito, X. Zha, O. Yokoyama: Nerve growth factor release from the urothelium increases via activation of bladder C-fiber in rats with cerebral infarction, NeuroUrol Urodyn, 201609, DOI: 10.1002/nau.23142, #3.128

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

業績一覧

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

16106004

N.Emori, Y.Takayama, S.Ito, H.Akino, S.kasamatu: Influence of our new nursing system, the Partnership Nursing SystemR (PNS), on the medical safety, Confused registration International Forum on Quality and Safety in Healthcare, Singapore(Singapore), 20160509

16106005

Y.Matsuta, N.Hashimoto, Y.Aoki, H.Akino, O.Yokoyama: Low-frequency transcutaneous electrical stimulation of foot can be a novel home-based treatment for refractory OAB, AUA Annual Meeting 2016, San Diego(USA), 20160509

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

16106006

笠川 哲也, 北浜 紀美子, 秋野 裕信: センtralモニタアラームへの対応に関する実態調査と院内教育後の評価, 第3回日本医療安全学会総会, 院内教育と評価, 東京, 20170319

c. 一般講演（口演）

16106007

秋野 裕信, 桑原 宜美, 藤井 真砂子, 北浜 紀美子, 寺崎 和代: オカレンス報告を当事者全員に要求する活動からわかったこと, 第11回医療の質・安全学会, 千葉市, 20161119

16106008

松田 陽介, 横井 聡始, 橋本 儀一, 青木 芳隆, 秋野 裕信, 横山 修: 難治性過活動膀胱患者におけるneuromodulation therapyの安全性と有用性についての検討—高齢者と非高齢者における比較—, 第104回日本泌尿器科学会総会, 仙台市, 20160424

d. 一般講演（ポスター）

16106009

藤井 真砂子, 秋野 裕信, 桑原 宜美, 寺崎 和代, 北浜 紀美子: 看護師のコミュニケーションスキルとリスクテイキング行動との関係, 第3回日本医療安全学会総会, 東京, 20170318

16106010

桑原 宜美, 藤井 真砂子, 寺崎 和代, 北浜 紀美子, 秋野 裕信: オカレンス報告システムの発生要因入力方法の変更による報告された発生要因の変化について, 第11回医療の質・安全学会, 千葉市, 20161119

16106011

品川 友親, 多賀 峰克, 岡田 昌裕, 横井 聡始, 黒川 哲之, 山内 寛喜, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 秋野 裕信, 横山 修: 中高リスクでの前立腺癌手術待機時間とPSA再発の検討, 第104回日本泌尿器科学会総会, 仙台市, 20160425

16106012

秋野 裕信, 桑原 宜美, 北浜 紀美子, 藤井 真砂子, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 泌尿器科領域におけるオカレンス報告からみた医療安全に関する検討, 第104回日本泌尿器科学会総会, 仙台市, 20160424

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

16106013

藤井 真砂子, 秋野 裕信, 桑原 宜美, 寺崎 和代, 北浜 紀美子: 当院の転倒・転落の現状と認識, 第2回福井・医療の質・安全を考える会, 福井市, 20170301

16106014

藤井 真砂子, 秋野 裕信, 桑原 宜美, 寺崎 和代, 北浜 紀美子: 確認不足のオカレンスと内服・注射場面のRisk-taking行動との関係, 第1回福井・医療の質・安全を考える会, 福井市, 20170301

16106015

糟野 健司, 横井 靖二, 伊藤 秀明, 多賀 峰克, 福島 佐知子, 森田 紗由, 小林 麻美子, 森川 幸恵, 三上 大輔, 高橋 直生, 木村 秀樹, 秋野 裕信, 横山 修, 岩野 正之: リツキシマブを用いたABO不適合腎移植と抗体陽性腎移植の自験例, 第103回福井県腎疾患研究会, 福井市, 20170316

16106016

横川 竜生, 秋野 裕信, 査 新民, 伊藤 秀明, 横山 修: 脳梗塞ラットにおける尿路上皮由来の神経成長因子は膀胱知覚C線維の活性化によって増加する, 第21回北陸泌尿器科 Basic Research Meeting, 金沢市, 20170304

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究（C）	脳梗塞に伴う過活動膀胱の発症予防を目指す非神経因性膀胱壁過緊張に関する研究	秋野 裕信	横山 修, 松田 陽介	2016	1690000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究（C）	医療安全院内研修会の有効性に関するエビデンスの構築と応用	北浜 紀美子	秋野 裕信, 藤井 真砂子, 笠松 真吾	2016	1950000

(B) 養学寄附金

受入件数	1
受入金額	300000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本排尿機能学会	理事	秋野 裕信
American Urological Association	一般会員	秋野 裕信
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会	一般会員	秋野 裕信
European Association of Urology	一般会員	秋野 裕信
日本排尿機能学会	評議員	秋野 裕信
日本臨床腎移植学会	一般会員	秋野 裕信
International Continence Society	一般会員	秋野 裕信
日本泌尿器内視鏡学会	一般会員	秋野 裕信
日本老年泌尿器科学会	一般会員	秋野 裕信
日本内分泌外科学会	一般会員	秋野 裕信
日本移植学会	一般会員	秋野 裕信
日本性機能学会	一般会員	秋野 裕信
日本泌尿器科学会	代議員	秋野 裕信

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
その他	テルモ メディカルセミナーin北陸	秋野 裕信
シンポジウム等	第3回医療安全学会	秋野 裕信
招待・特別講演等	第2回福井、医療の質・安全を考える会	秋野 裕信
一般講演（口演）	第23回排尿機能学会	秋野 裕信
招待・特別講演等	第1回福井、医療の質・安全を考える会	秋野 裕信
一般講演（口演）	第104回日本泌尿器科学会総会	秋野 裕信

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他